

春号

おおた文化の森

「森で、始めよう」

特集

世代をつなぐ幸せづくり ～文化の「たねまき祭」を終えて～



2006年6月の第1回実行委員会から、打ち合わせを重ね無事終了しました。皆様ありがとうございます。ご苦労様でした。

場所は多目的室で、2007年3月10日午後1時30分～午後4時30分まで、セレモニー・シンポジウムと内容の濃いたねまき祭は無事終了しました。

今年度のポイントは、(1)多目的室で全部実施(2)報告会をシンポジウム形式にして前半報告・展望(報告書をご覧ください)、後半を話し合い形式(パネラーと会場の参加者)で実施(3)トータルテーマ「世代をつなぐ幸せづくり」・話し合いテーマ「高齢者と子ども」「親と子」に絞り、進行了しました。

それゆえの緊張した話し合いができたと思います。従来は「報告会」のみだったのが「話し合い」を行ったことで、テーマに対して全員が考えていることの確認ができ、そこから各プロジェクトの来年度に対する姿勢・決意表明が聞けました。具体的な「高齢者と子ども」「親と子」のテーマにより我々が何をしていきたいのかが見えました。このかたちを今後発展していけば大田文化の森の明日が創れる可能性があります。

来年度に向けて種を蒔いたのは、(1)テーマ「世代をつなぐ幸せづくり」(2)シンポジウム形式の可能性(3)全員参加を考える、等だと考えます。

運営委員(たねまき祭実行委員会委員長)

特集

「運営協議会報告書」仕上がる ～次期へのバトンタッチ～

大田文化の森運営協議会の「第二期報告書」が4月15日に刊行される。大作である。運営協議会委員による「報告書」と、たねまき祭実行委員会が年度ごとにまとめた「資料集」がセットになっている。

「報告書」は主要部門の事業報告と各委員の感想文、次期への提言、活動の数字的データで構成されている。第二期の3年間にわたる活動と実績の全貌が凝縮されている。さらに「第

読み応えのあるコラムが自慢

元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤーレポート 「文化プレーヤー1年生」

様々な特技を持つ新米文化プレーヤーの声です。皆さんいろいろな思いを持って参加されています。

運営協議会委員の志

「私の文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は河合良治さんです。

実行委員会いざいざ

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は芸術事業プロジェクトです。

大田の顔 キラリ

今回は世界中で数々のフレスコ画を手がける大田区在住の大野彩さんをご紹介します。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今月は公募企画で行われたタイルクラフトサークルとかな書道サークルをご紹介します。

ここに花あり おおた花百景

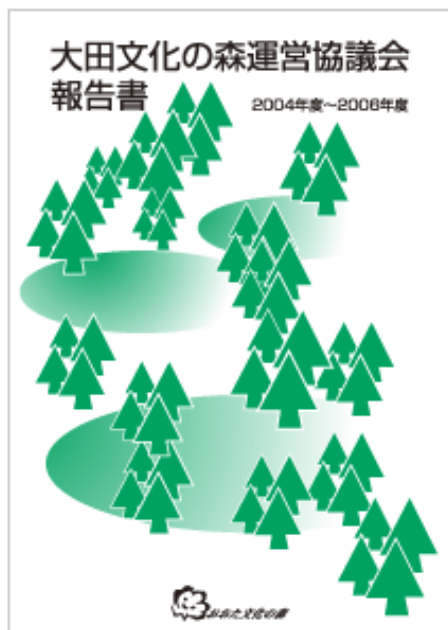
立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月はNPO法人大田・花とみどりのまちづくり事務局からガーデニングのお誘いです。また以前紹介した「大倉山公園」のその後もお伝えします。

三期への提言」の形式で、コンパクトに運営協議会の在り方や、達成度、次期への期待など述べている。

「資料集」は各実行委員会の年度ごとの実績と展望が生々しく記録され、それぞれの個性と持ち味が盛り込まれている。

「報告書」は運営の記録や実態など、どちらかといえば客観的な記録部分が多いが、「資料集」は具体的事例が豊富であり、ケーススタディの資料としても活用されよう。

これらはともに、運営協議会のホームページに掲載される。文化の森の活動で直接関わりあった区民の方々はもちろん、ひろく内外に、区民参加型、発信型の文化事業ないし文化活動の生きたレポートとして、参考に供されるであろう。



運営委員 福野 幸雄

第4回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2006年下期 「企画実施報告書」から

2006年の下期に行われた企画写真をご紹介します。充実した活動がご覧になれると思います。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 顔でもあり

暖かくなってきたこの季節、何かを始めるにもピッタリの次期です。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号 (FAX) をご記入願います (1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

バックナンバー

[vol.12夏号](#) / [vol.13秋号](#) / [vol.14冬号](#)

[vol.15春号](#) / [vol.16夏号](#) / [vol.17秋号](#)

[vol.18冬号](#) / [vol.19春号](#) / [vol.20夏号](#)

[vol.21秋号](#) / [vol.22冬号](#)

大田文化の森Vol.21Web版

2006年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail: bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

元気印 文化プレイヤー

文化プレイヤー通信は 夢を運ぶ

プレイヤー通信の編集に参加して2年になろうとしています。気楽にボランティアするつもりでしたが、毎月発行されるため安易な気持ちでは出来ないことに気がつきました。その上、思ったこと感じたことを文章にする難しさを思い知らされました。背伸びして難しい文章を書く必要はなく、文化プレイヤーの目線で見たこと、感じたことを素直に表現すれば良いことが段々分かってきました。

読み手に共感や感動を少しでも与えられて、一人でも多く文化の森のイベントに参加を促す役目が出来たらと思えるようになりました。“プレイヤー通信読んでいるわよ”とか“毎月送られて来るのが楽しみになった”等と声を掛けられるのが何よりも励みになっています。初めて発行出来た時の感動をいつまでも忘れずに、これからも携わっていきたいと思っています。

文化プレイヤー 佐野 美清

「ボランティアってなあに・・・」ほとんど無関心だった私が、ちょっとした出来心で文化の森の文化プレイヤーになり、プレイヤー通信の編集・発行に係わって約2年になります。私のかつてのあだ名は「3歳児」・・・。理由は、あれ何？これ何？なぜ？どうして？それからどうなる？とにかく知りたい事柄がたくさんあって、未知の事柄に遭遇すると、目が輝いていくのです。そしてジグソーパズルも大好きです。このような好奇心と、物づくりの志を同じくする仲間に出会えて、更に生き生きとした自分を自覚しています。月々のプレイヤー通信の活動での編集やインタビューは上手とはいえないし、その評価も気になりますが、更に努力と研鑽を重ねてよりよい文化プレイヤー通信へと成長していきたいと思います。

文化プレイヤー 永島 俊子



文化プレイヤーレポート 「文化プレイヤー1年生」



特集

世代をつなぐ幸せづくり
～文化の「たねまき祭」を終えて～

「運営協議会報告書」仕上がる
～次期へのバトンタッチ～

読み応えのあるコラムが自慢

運営協議会委員の志

「私の文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は河合良治さんです。

実行委員会いざいざ

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は芸術事業プロジェクトです。

大田の顔キマリ

今回は世界中で数々のフレスコ画を手がける大田区在住の大野彩さんをご紹介します。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は公募企画で行われたタイルクラフトサークルとかな書道サークルをご紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はNPO法人大田・花とみどりのまちづくり事務局からガーデニングのお誘いです。また以前紹介した「大倉山公園」のその後もお伝えします。

第4回 フォレストメーツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2006年下期 企画実施報告書から

2006年の下期に行われた企画写真をご紹介します。充実した活動がご覧になれると思います。



公募企画の講座の実施とプレーヤー通信のお手伝い
文化の森で自分の特技をいかした講座を開きたくて公募企画に応募し、『親子で作るアロマクラフト』が採用されました。この応募者説明会で文化プレーヤーの活動の事を知り、さっそく登録しました。現在の主な活動内容は、文化プレーヤー通信の編集を手伝っていることです。参加して良かったなと思ったことは、公募での講座最終日に生徒全員にお礼を言われた事と、初めて自分の編集した原稿が文化プレーヤー通信で記事となって配布された事です。この活動のおかげで多くの地域の方々と面識を持つことが出来ました。

橋本 佳奈



素晴らしい方々との出会い

「1年生」——10ヶ月前に2度目の花束をもらったものにとっては、うれしいことです。昨年9月に公募企画「オペラ入門」の参加者として関わったことが、活動するきっかけとなりました。オペラの講座では、講師の方をはじめ、素晴らしい方々との出会いに喜び、大いに楽しみ、今後のオペラ鑑賞の大きな力となりました。最終日に、事務局の方から文化プレーヤー活動の案内があり、その後は、コンサートの受付、情報誌やプレーヤー通信の印刷・発送作業など、はじめての方々とすっかり打ち解け、会話をしながらの作業は「元気・喜び・ささやかながら地域活動をしている」という満足感で一杯です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

三輪 重雄



文化の森での出会い

文化の森の子ども若者たちのプロジェクトに在籍してもうすぐ1年ほどになります。長女が「子ども落語講座」に参加したのがきっかけで母親の私まで文化の森と深い関係になりつつあります。いろいろな活動を通して様々な年齢層のプレーヤーの方々と知り合えて良い刺激をたくさん受け、張りのある毎日になったような気がします。

昨年末には「親子でリースパンに挑戦！」を開催し、企画者、講師として中心にたって活動させていただきました。その際、いろいろな方々の支えがあつての成功を強く感じました。多くの人があつてこそその素敵なイベントの成功だったと思います。常にたくさんの興味深いイベントを企画実行している大田文化の森に参加者としてだけ関わるのはもったいない！企画実施側のお手伝いをさせていただくごとに「やりがい」と「楽しさ」をかみしめる毎日です。

石倉 多久美



自由な時間の中でのひとつの出会い

定年退職後しばらく、展覧会やコンサートに出かけたり、カメラを担ぎ庭園や神社仏閣を訪ねて回ったりと、自由な時間を楽しみながら自分の居場所を探していました。そんな時、運営協議会主催のボランティア養成講座に参加したことが、登録のきっかけとなりました。主な活動は①異文化交流プロジェクトで企画補助や記録写真撮影②まちづくりプロジェクトのガーデニングクラブで花鉢の管理を行なっています。

やりがいを感じるの、来場された方々の笑顔に接することができた時です。ぜひこれからも一緒に楽しみながら活動していきたいと思ひます。

北岡 武

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

暖かくなってきたこの季節、何かを始めるにもピッタリの次期です。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願ひます（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.23Web版

2007年4月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は季刊1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

運営協議会委員の志

「私の文化の森」

河合 良治

～良い木は、美しい森をつくり
美しい森は、良い木を育てる～

横浜で15年経営した学習塾を一段落させた後、子どもの通う小学校のPTA活動を通して、「子どもたちの環境を整える」必要を感じ、学校・地域・行政や子育て団体などに積極的に関わっていました。

少子化に伴い、小学校は、児童の教育の場であると同時に、余裕教室を中心に地域活用のための区民の大切な資産ともなっています。大田区教育委員会は、学校教育を「地域とともにある学校」としています。学校には、校長は4年・教員は8年ほどの任期です。親も2人の子がいても10年ほどです。しかし、地域は20年・30年と係われ、子や孫にも引き継いでいるのです。私は、「大田文化の森」(この名称を決めることが運営協議会委員の最初の仕事でした)の運営に参画すれば、その方法と技術(スキル)を身につけられるだろうと思ったのです。

運営協議会委員として二期6年の任期を終え、私は、今また地域に帰ろうとしています。森を形成する木としての私は、良い木であつたらうか。そして、この美しい森によって育てられた木としての私は、また、地域にあって、魅力ある学校と豊かな地域をつくる良い木としての役割を果たせるだろうかと自問するこの頃です。そしてなによりも、私自身がおしゃれで楽しい生きかたを回りの人や環境とともに分かち合えるものとなりたいと思うのです。※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです。

河合 良治



～発信し主張し実行する～「実行委員会いきいき」シリーズ

芸術を日常の楽しみに！

芸術事業プロジェクト実行委員会は、文字通り芸術全般に関わる企画を立て実施する委員会です。

昨年度は「暮らしの中のアート」、「オペラレクチャーコンサート“リゴレット”ハイライト」、「気軽にオペラ“オペラとワインと世界遺産”」、「京劇ワークショップ」、「魅力がいっぱいバレエのワークショップ“バレエ 白鳥の湖より～白鳥”」などの催しを行いました。今年度も4月に「子育て中の皆様応援！“弦楽四重奏コンサート”」、「魅力がいっぱいバレエのワークショップ“バレエ 白鳥の湖より～黒鳥”」と続きます。それぞれ芸術性の高い企画ですが、タイトルをご覧いただければお分かりいただけるように、身近に鑑賞し、体験し、一緒に楽しんでいただけるように工夫した企画です。

特集

世代をつなぐ幸せづくり
～文化の「たねまき祭」を終えて～

「運営協議会報告書」仕上がる
～次期へのバトンタッチ～

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤーレポート 「文化プレーヤー1年生」



様々な特技を持つ新米文化プレーヤーの声です。皆さんいろいろな思いを持って参加されています。

大田の顔キラリ

今回は世界中で数々のプレスコ画を手がける大田区在住の大野彩さんをご紹介します。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今月は公募企画で行われたタイトルクラブサークルとかな書道サークルをご紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月はNPO法人大田・花とみどりのまちづくり事務局からガーデニングのお誘い。また以前紹介した「大倉山公園」のその後もお伝えします。

第4回 フォレストメイツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2006年下期 「企画実施報告書」から

2006年の下期に行われた企画写真でご紹介します。充実した活動がご覧になれると思います。

私たち芸術事業プロジェクト実行委員会のモットーは、「文化の森」にふさわしい芸術の探求です。それは、高いところにある“芸術”ではなく、できるだけ多くの方に、芸術の本来のありかたである「人を幸せにし、心を癒し、元気づける」ことを共有していただくために、堅苦しくなく、身近に芸術と触れ合っていたただける、やさしい企画の提案です。

芸術事業プロジェクトは、地域の芸術活動を活発化する企画・実施を提案し、サポートします。

4月に開催される「子育て中の皆様応援！ 弦楽四重奏コンサート」は大田区在住の演奏者が中心となって奏で、子育て中の音楽ファンがお子様と共に鑑賞できるコンサートです。また、「魅力がいっぱいバレエのワークショップ“バレエ 白鳥の湖より～黒鳥”」は区内のバレエ関係者が協力して、参加者の誰もがプロのダンサーと一緒に学び、舞台芸術を身近に触れることができるように構成された催しです。

このように、「文化の森」の芸術は、暮らしの中に取り入れられることによって、敷居の高い感のあった芸術を日常の楽しみにすることです。

文化プレーヤー(芸術事業プロジェクト副実行委員長) 奥田 和子



文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 佃でもあり

暖かくなってきたこの季節、何かを始めるにもピッタリの次期です。今月もたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.21Web版
2006年10月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

4月～6月 運営協議会【会議】スケジュール

>※問い合わせは月～金(9:00～18:00)の間に願います。

■文化会議(毎月第1・3金曜日)19:00～21:00<第2集会室>

4月6日・20日、5月18日、6月1日・15日

*文化会議は、運営協議会の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。

■役員会(文化会議のある週の火曜日)13:30～15:00<講師控室>

4月3日・17日、5月15日・29日、6月12日

■実行委員会

●芸術事業プロジェクト<第4金曜日19:00～21:00>4月27日、5月25日、6月22日

●誰でも楽しめるプロジェクト<第1月曜日19:00～21:00>4月2日、5月7日、6月4日

●子ども若者たちのプロジェクト<第2金曜日13:30～15:30>4月13日、5月11日、6月8日

●まちづくりプロジェクト<第1木曜日10:00～12:00>4月5日、5月10日、6月7日

●異文化交流プロジェクト<第3木曜日18:30～20:30>4月19日、5月24日、6月21日

●サロン交流会プロジェクト<火曜日19:00～21:00>4月24日、5月8日、6月19日

●収穫祭プロジェクト<第3水曜日19:00～21:00>4月18日、5月23日、6月20日

おおた文化の森



大田の顔 キラリ

フレスコ“洋と和の融合”

～フレスコ画家 大野彩さん～

「大田文化の森」のすぐ近くにあるフレスコ画家・大野彩(おおのみさお)さんの工房「壁画ラボ」を訪ねた。

フレスコとは、砂と石灰を混ぜて作ったモルタルで壁を塗り、その上に水だけで溶いた顔料で絵を描く方法である。

昨秋、「大田文化の森」で開催された大野さんの講演会「輝く文士村「フレスコを巡る旅・フレスコのシルクロード」」をお聞きしてから3ヶ月後の取材となった。講演会前はフレスコ画とはイタリア・ルネッサンス初期の画家・ジョットに代表される絵画のひとつの手法ぐらいの認識しかなかったのが、「先史時代(約1万5千年前)にアルタミラ洞窟(スペイン)等にすでに“天然のフレスコ”として描かれ、ポンペイ、エトルスク、ギリシャ、ルーマニア、敦煌、高松塚、等々、ユーラシアの東西に広がる世界遺産の壁画の多くがフレスコの仲間です。」と聞き、ロマンを感じてしまったのだ。

早速、大野さんの著書「フレスコ画への招待」(岩波アクティブ新書)を求めた。

大野彩さんは南馬込生まれで在住。大学の油絵科を卒業後に大学院の壁画科を修了、フィレンツェやルーマニアに学ばれ、現在は制作とともに、フレスコ技法に関する研究活動や大学の講師、また東京文化財研究所客員研究員も務められている。日本におけるフレスコ画の第一人者である。

壁画ラボでは、大野さんの作品を紹介していただいた。その中には「三鷹の森ジブリ美術館の天井フレスコ画」、栃木県葛生町の町おこしを担った「栃木県石灰石工業会館のフレスコ壁画」等、また日本の仏教寺院から依頼された天井画や壁画の数々があった。特に寺院の作品の中にフレスコがシルクロードを経てはるばる日本にたどり着き“和”の中に融合し、昇華する美しさに感動した。フレスコ画は制作方法の上でも安全で環境に優しく、なおかつ半永久的に保つことが可能だとのこと。大野さんの洋と和を融合させた、心を癒してくれるフレスコ画を、大田区でも数多く製作していただきたいものである。



特集

世代をつなぐ幸せづくり
～文化の「たねまき祭」を終えて～

「運営協議会報告書」仕上がる
～次期へのバトンタッチ～

読み応えのあるコラムが自慢

元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤーレポート 「文化プレーヤー1年生」



様々な特技を持つ新米文化プレーヤーの声です。皆さんいろいろな思いを持って参加されています。

運営協議会委員の志

私の文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は河合良治さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は芸術事業プロジェクトです。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月はNPO法人大田・花とみどりのまちづくり事務局からガーデニングのお誘いです。また以前紹介した「大倉山公園」のその後もお伝えします。

第4回 フォレストメイツ テクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2006年下期 企画実施報告書から

2006年の下期に行われた企画写真でご紹介します。充実した活動がご覧になれると思います。

イベント情報
文化の森顔でもあり

暖かくなってきたこの季節、何かを始めるにもピッタリの次期です。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.21Web版

2006年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります



文化プレーヤー 奥田 和子

文化の森 育ち 公募企画急成長

「タイルクラフトサークル」

「タイルクラフト」という工芸はあまり知られておらず、どうしたら沢山の方々にご紹介できるかと思っていました。そんな折、大田文化の森運営協議会主催の公募企画があることを知り早速応募してみました。いろいろとご相談にのっていただき、無事企画が通り多数の方が応募くださいました。半年間の講座を終えた後、有志の方と自力で部屋を借りて継続して行う事となり今年の4月で丸2年となります。テーブルやモザイク画など大物も手がけるようになりガラスのタイルやメキシカンタイル、天然石のタイルなどを使い様々な作品作りに挑戦しています。月に1回、第4もしくは第3木曜日に10時から活動を行っています。<http://www.hi-ho.ne.jp/shibu/>
問い合わせ：090-4439-5618 渋谷 秀子



かな書道サークル「怜雅会」

「書」の楽しさを一人でも多くの方々と共有し、生きがいのある人生を送りたいとの思いと、これまでの自分の経験を活かし、少しでも地域の人々に役立ちたいという思いで、平成17年度の公募企画に応募しました。

「書」を学びたいという共通の思いを持った多くの方々との出会いがあり、講座終了後もサークルができ、毎回、皆嬉々として明るく生き生きと学習しています。共に学ぶことにより、地域の人々との親和交流ができ、次回がとて待ち遠しい様子です。

かな文字の美しく洗練された書文化に触れ、正しい書き方に慣れ親しみを持ちつつ、心豊かに楽しく基本を学び、また、自由に表現することの楽しさを知り、古典を学びつつ百人一首など様々なことを盛り込んだ教室を毎月第1・3火曜日9時45分から11時45分に行っています。私達と一緒に「書」を楽しんでみませんか。



巨大なガーデンや立派な花畑でなくてもよい。街を往くとき、ふっと思いが浮かんだり、はっと気がつくスポットが沢山あるはず。そこに花があれば楽しめる。なければ植える方法がないか考え実行できるかもしれない。こんなスポットが百景もできれば、街が華やぎ、人々が甦る。一昔前、群馬の市民楽団が草の根から成長して「ここに泉あり」と評されたことがあった。

このシリーズは、区民の皆様の推薦スポット。ご連絡を歓迎します。(編集部)

ガーデニングは広がる

「花が嫌いな人はいない」とよく言われます。私たちは公共の花壇に花を植えてその手入れをする活動を、地域のメンバーで行っています。「花が好き」「花で自分たちの暮らすまちをきれいになりたい」「花好きな仲間と一緒にいると楽しい」など、様々な動機によって、地道な活動が支えられています。

花が好きなのは、私たち人間だけではなく、今まで花がなかった場所に花を植えると、それは目ざとく、多くの虫たちが花の蜜を求めてやってきます。花を植え替えるために土を耕していると、土の中に住んでいる小さな虫がたくさん土の表面に出てくることから、それを狙って鳥たちが回りに集まってきます。私たちが花好きの延長線上のこと、と勝手に楽しみながら取り組んでいることが、実は都会の生き物たちの「オアシス」を作ることになり、行き交う人たちの心だけでなく、都市の環境を豊かにすることにつながっているのです。

いきなり「都市緑化の推進」とか「都市環境の整備」だなんて言われちゃうと敬遠されがちですが「好きな花を植える」という行為は、立派にその入口の役目を果たしています。きっと身近なところに、そんな可能性を秘めた空間がまだまだあるはず。私たちと一緒に取り組んでみませんか？

NPO法人大田・花とみどりのまちづくり事務局 長 牧野 ふみよ

～「大倉山公園」その後～

特集

世代をつなぐ幸せづくり
～文化の「たねまき祭」を終えて～

「運営協議会報告書」仕上がる
～次期へのバトンタッチ～

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤーレポート
「文化プレーヤー1年生」



様々な特技を持つ新米文化プレーヤーの声です。皆さんいろいろな思いを持って参加されています。

運営協議会委員の志

「私の文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は河合良治さんです。

実行委員会いざいざ

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は芸術事業プロジェクトです。

大田の顔キラリ

今回は世界中で数々のフレスコ画を手がける大田区在住の大野彩さんをご紹介します。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今回は公募企画で行われたタイルクラフトサークルとかな書道サークルをご紹介します。

2006年下期
「企画実施報告書」から

2006年の下期に行われた企画写真でご紹介します。充実した活動がご覧になれると思います。

文化の森イベントスケジュール

馬込文士村景勝の地大倉山公園に、地図を片手に入っていく姿をよく見かけるようになった昨年11月のはじめ、嬉しい報せが入った。公園の周辺に住む十数名の方がふれあいパーク活動として大倉山公園の運営に手をあげてくれたという。「大倉山夢広場」というグループとして申請もおりた。馬込文士村散策の休憩地点として、そして何より地域の皆さんの憩いの場となる公園にと思いは熱い。子どもたちが自然とふれあいながら遊べる行事や景観を生かした花見や月見の会などいずれ実現したいと夢がひろがる。清掃はいままでどおり馬込園の皆さんにお願いすることになっている。全くのボランティアで、あるのは地域に貢献したいという情熱だけと代表の加藤富子さんは語る。気負わず出来ることから始めたいと・・・一緒にやって下さる方、募集中！
大倉山公園の桜やチューリップが爛漫と咲き香る頃よいよ活動開始！！

文化プレーヤー 矢野 マサ子

第4回 フォレストメーツ チクリ一筆



いまこそ文化の力を認識すべきとき

世の中、政治、経済そして社会でも「市場原理主義」とやらが幅を利かせ、人々の心からゆとりと潤いすらも奪おうとしています。

文化や教育はそのような市場原理主義の秤にはかけられないものと考えています。

当会では2000年3月の発足以来、約46回の文化講演会(内38回は「大田文化の森」で実施)と約10回の郷土の宝、馬込文士村を中心とした散策会を実施して参りましたが、活動を通じて日本の文化と、それを担う日本の心のすばらしさを再認識してきました。

今後、「大田文化の森」とは単なる場の賃借関係に留まらず、

次代を担う子どもたちを含み、文化を通じて心のゆとりと潤いを取り戻すという視点から互いに協力し、活動を続けて参りたいと考えております。

NPO法人馬込文士村継承会理事長 井上 幹彦

イベント情報 文化の森 顔でもあり

暖かくなってきたこの季節、何かを始めるにもピッタリの次期です。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号

(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.21Web版

2006年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail: bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](http://www.bunkanomori.com)

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります



2006年下期

「企画実施報告書」から



まちづくりプロジェクト

「不安解消!防犯アイデア大集合」9月16日(土)実施、11月3日「収穫祭」展示コーナーで発表『防犯教室での地域安全マップづくりで、成果を発表。自分の住む町の防犯意識を高めました』



異文化交流プロジェクト

「フィンランドの家庭料理交流講習会」11月19日(日)『フィンランドから講師と助手2名が直接来日し、家庭料理講習会を開催。大変好評であった』

特集

世代をつなぐ幸せづくり
～文化の「たねまき祭」を終えて～

「運営協議会報告書」仕上がる
～次期へのバトンタッチ～

読み応えのあるコラムが自慢

元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤーレポート

「文化プレーヤー1年生」



様々な特技を持つ新米文化プレーヤーの声です。皆さんいろいろな思いを持って参加されています。

運営協議会委員の志

「私の文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は河合良治さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は芸術事業プロジェクトです。

大田の顔 キラリ

今回は世界中で数々のフレスコ画を手がける大田区在住の大野彩さんをご紹介します。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今月は公募企画で行われたタイルクラフトサークルとかな書道サークルをご紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月はNPO法人大田・花とみどりのまちづくり事務局からガーデニングのお誘いです。また以前紹介した「大倉山公園」のその後もお伝えします。



子ども・若者プロジェクト

「ひなまつりに手作り和菓子でお茶を楽しもう！」2月25日(日)『親子で、和菓子作りを体験し、和室でお点前を拝見しながらお抹茶と皆で作った和菓子をいただきました』



収穫祭プロジェクト

「東京高校の生徒さんによるチアリーディング」11月4日(日)『収穫祭2日目の広場での演技。来場者アンケートで広場の演目中第一位でした』



サロン交流会プロジェクト

第4回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

暖かくなってきたこの季節、何かを始めるにもピッタリの次期です。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介しています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

大田文化の森Vol.21Web版

2006年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail: bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](http://www.bunkanomori.com)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

『歌と詩吟のコラボレーション』11月18日(土)『ハーモニカーエコーと岳精流日本吟院によるミニコンサート。参加者のみなさんも自然と口ずさむほどの盛り上がりとなりました!!』



誰でも楽しめるプロジェクト

「森のアート」12月13日(水)『絵手紙を書きました！ 年賀状もがんばります!』



芸術事業プロジェクト

「オペラレクチャーコンサート『リゴレット』ハイライト上演」10月14日(土)『有名なオペラの名作「リゴレット」を、はじめての方にもわかりやすい解説付きで気軽に鑑賞してもらうことができました』



公募企画

「やすらぎの名曲コンサート」2006年10月20(金)『ヴァイオリン、ピアノ、ソプラノで構成するアリオートによる心温まるコンサート。近隣の高齢者施設の方々や区民の方を無料ご招待し感謝の言葉を頂くなど大反響をよびました』

文化の森 イベント情報 何でもあり

春らしくたくさんイベントが盛りだくさんです。編集に困るくらい魅力あるイベントばかりですので是非ご参加ください。

最新イベント情報

懐かしのフォークソング・フェスティバル出場者募集

～ 60年代のフォークソングの熱気を今ここ文化の森で！！～

秋の一日を懐かしさに浸ってみませんか。フォークギターで青春時代を送った人はもちろん、フォーク好きなら、性別年齢問わず大歓迎！！

□開催日時:10月13日(土)午後1時～5時(予定) □会場:大田文化の森 ホール

□参加費:1名につき 1,000円 □1団体当たり約20分程度 計15団体

※希望団体多数の場合には、オーディションにより決定(8月予定)

□参加資格:非プロ、区内アマチュア・フォークバンド、区内小中学生・高校生

□申込:6月30日必着

一緒に盛り上げてくれるボランティアメンバー(裏方スタッフ)も募集しています。

実行委員会 毎月1回開催

[※応募要項はこちらをご覧ください。](#)

季節を彩る押し花アート展

押し花で描くアートの世界を紹介。押し花はすべて自分たちで作って仕上げています。ぜひ一度押し花アートを覗いてみませんか？

□開催日時:4月4日(水)から18日(水)＜12日は休館日＞9:00～17:00

初日は13:00～、最終日は16:00まで

□会場:大田文化の森 4階廊下ギャラリー□直接会場へ

[※チラシはこちらをご覧ください。](#)

詩吟教養講座(新詩吟)

岳精流日本吟院の講師による詩吟を通して教養を高める講座。

□開催日時:4月11・25日、5月9・23日、6月13・27日(各水)／13:30～16:30□会場:4階第2集会室□定員:抽選で20名□参加費:6,000円□申込:3月23日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

楽しいイベントが一杯！ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

二胡で巡る中国の旅

中国各地の音楽を二胡と楊琴で、解説を交えて紹介

□開催日時:5月13日(日)14:30～16:30

□会場:大田文化の森ホール

□チケット:1,000円(未就学児の入場不可)大田文化の森にて発売中

[※案内チラシはこちらをご覧ください](#)

文化の森サロン交流会

参加者同志による情報交換や運営協議会からのお知らせなど、毎回さまざまなミニイベントを交えて交流を図ります。初めての方も大歓迎です！

□開催日時:5月15日、7月10日(各火)19:00～21:00 □会場:5階多目的室□参加費:500円

(軽食・飲物付き)□当日直接会場へ

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

チャリティー公演

「冒険活劇 ガンバと仲間たち」

児童文学の名作『冒険者たち』の舞台版。入場料の一部と会場で募る募金を日本盲導犬協会へ寄付

□開催日時:6月10日(日)18:00～ □会場:大田文化の森ホール

□チケット:ペア券1500円、大田文化の森にて4月16日10:00から発売(未就学児不可)

特集

世代をつなぐ幸せづくり
～文化の「たねまき祭」を終えて～

「運営協議会報告書」仕上がる
～次期へのバトンタッチ～

読み応えのあるコラムが自慢



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤーレポート

「文化プレーヤー1年生」



様々な特技を持つ新米文化プレーヤーの声です。皆さんいろいろな思いを持って参加されています。

運営協議会委員の志

「私の文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は河合良治さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は芸術事業プロジェクトです。



今回は世界中で数々のフレスコ画を手がける大田区在住の大野彩さんをご紹介します。



文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今月は公募企画で行われたタイルクラフトサークルとかな書道サークルをご紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月はNPO法人大田・花とみどりのまちづくり事務局からガーデニングのお誘いです。また以前紹介した「大倉山公園」のその後もお伝えします。

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■大田文化の森落語会季節寄席(夏)

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、春風亭柳朝(朝之助改め真打昇進)他。演目は未定

□開催日時:7月21日(土)15:00~18:00 □会場:大田文化の森ホール

□チケット:前売500円、当日700円、大田文化の森にて6月21日10:00から発売(未就学児不可)

■読み語り「八月の蒼い空」

野坂昭如著『戦争童話集』、武田鉄矢『月がのぼるまでに』を鈴鹿景子が演劇的要素を取り込んだ読み語りの演出で上演。反戦より平和祈念を忘れることなく伝える

□開催日時:8月18日(土)14:00~15:30/18:00~19:30 □会場:大田文化の森ホール

□チケット:前売2,000円(中学生以下1,000円)、当日券2,200円(中学生以下1,100円)大田文化の森にて6月18日10:00から発売

■真夏の夕べのコンサート

第一部 文化の森~平和の調べを~朗読と歌(コーラス)、第二部 文化の森から文化の薫を~歌(独唱)など

□開催日時:9月1日(土)18:30~21:00 □会場:大田文化の森ホール

□チケット:1,500円、大田文化の森にて7月2日10:00から発売(未就学児不可)

■トライ! ジョイントコンサート

大田区内で活動中の小さな合唱団を公募で募り、採用された合唱団が主役になって、楽しいミニコンサートを開催

□開催日時:9月8日(土)14:00~16:00 □会場:大田文化の森ホール

□チケット:800円、大田文化の森にて7月6日10:00から発売(未就学児不可)

■「トライ!ジョイントコンサート」参加団体募集のお知らせ 9月8日(土)に文化の森ホールで開催される合唱コンサートの参加団体を募集している。応募条件:区内で活動している20名以内で単独コンサートを開催していない小さな合唱団など。□定員:抽選で4団体 □参加費:無料(但しチケットのノルマ1団体50枚を予定)□申込:団体名、参加人数、代表者氏名、住所、電話番号を明記。□締切:4月20日必着□採用の団体は5月より第4火曜日5回程度打合せの予定あり。時間は19:00~21:00

[応募要項はこちらをご覧ください。](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

体験してみよう! 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■魅力がいっぱい バレエのワークショップ

舞台芸術を身近に触れる機会を提供する。芸術鑑賞の知識を親子でも楽しみながら体験

□開催日時:4月22日『黒鳥』(日)14:00~16:00 □会場:5階多目的室 □定員:抽選で各80名 □参加費:1,500円(小中学生1,000円、保護者と子どもはセットで1,500円) □申込:4月16日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■お母さんのためのリフレクソロジー入門講座

親子の絆も深まる足裏健康法を自分や家族の健康のために学んでみませんか

□開催日時:5月8・22日、6月5日(各火)10:00~11:30 □会場:4階第2集会室 □参加費:3,000円 □定員:抽選で20名(有料保育あり)□申込:4月20日必着(保育希望者は子供の名前と月齢を明記)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■健康ピラティス体験教室

ドイツで開発された身体に負担がかからず、柔軟性のあるしなやかな身体を作る話題のエクササイズを体験

□開催日時:5月14・21・28日(各月)19:00~20:00 □会場:1階第1スポーツスタジオ □参加費:2,000円 □定員:抽選で15名 □申込:4月20日必着

第4回 フォレストメーツ チクリ華

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2006年下期 「企画実施報告書」から

2006年の下期に行われた企画写真でご紹介します。充実した活動がご覧になれると思います。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

暖かくなってきたこの季節、何かを始めるにもピッタリの次期です。今月もたくさんイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

編集後記

F&F 編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.21Web版

2006年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■ワクワク子育てコーチング

小学4年生までのお子さんをお持ちの方を対象にした子どもとのコミュニケーションスキルを、コーチングを通して身につけます

□開催日時:5月14・28日、6月11・25日、7月9日(各月)10:00~11:45 □会場:4階第2集会室 □定員:抽選で25名(有料保育あり) □参加費:4,000円 □申込:4月20日必着(保育希望者は子供の名前と月齢を明記)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■中高齢も大丈夫! 楽々ひとこと英会話

初めて英会話にチャレンジしたい人でも無理なく学べる簡単な英語に焦点を当て英語の楽しさを味わいましょう

□開催日時:5月18・25日、6月1・8・15・22日(各金)14:00~15:30 □会場:4階第2集会室 □定員:抽選で36名 □参加費:4,800円 □申込:4月27日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■国際文化交流や留学時のパーティーもお着物で

着物の歴史、格合わせ、季節のルール、種類など初心者向けの講義と浴衣と揚羽蝶結びを学びます

□開催日時:5月19日、6月16日、7月21日、8月18日(各土)14:00~16:00 □会場:3階和室 □参加費:4,000円 □定員:抽選で30名 □申込:4月28日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■盆踊りに手作りゆかたで参加しよう!

自分でゆかたを縫い、着付け講習を受けて盆踊りに参加しましょう

□開催日時:5月24日、6月7・21日、7月5日(木)9:00~12:00 □会場:3階和室 □参加費:2,000円(ゆかた地は各自用意) □定員:抽選で10名(15歳以上) □申込:5月15日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■暮らしの井戸端塾

~紙芝居ワールドによろこそ~

ぬり絵から舞台・台本づくり、読みきかせの練習、発表まで紙芝居を使って手作りのおもしろさを体験

□開催日時:6月10日、7月8日、8月19日、9月9日、10月14日、10月28日(各日)13:30~16:30 □会場:3階工芸室他 □定員:抽選で15名 □材料費:6,000円 □申込:5月18日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■ハーブを使う家庭料理講習会

家庭でできるハーブ料理の講習会。ハーブ料理専門の講師に依頼し、ハーブの知識を深めてもらう

□開催日時:6月24日(日)10:00~12:00 □会場:3階調理室 □定員:抽選で30名(中学生以上) □参加費:1,000円 □申込:6月9日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■夏休み集中講座~こども落語講座

夏休みに落語家を講師に招き、古典落語を通し江戸庶民の日常、風習などに親しむ

□開催日時:7月23・30、8月2・6・13・16日(月木)13:00~17:00 □会場:3階和室 □参加費:3,000円(小学生) □定員:抽選で40名 □申込:7月9日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

 **生活・心に役立つ講座** 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■ハーブの寄せ植えを楽しむ講習会(第1回)

ハーブについて学びながら、ハーブの寄せ植えを楽しんでみませんか

□開催日時:5月13日(日)10:00~12:00 □会場:3階工芸室 □参加費:1,500円 □定

員：抽選で30名(小学生以上) □申込：4月28日必着

[※チラシはこちらをご覧ください。](#)

■ 美しき文士村～大田の庶民のつわものたち

馬込文士村の文士たちの足跡をたどるシリーズ講座。第1回は、『大田区ゆかりの人々』『大田ことがら事典』等自ら情報収集・出版をしている人たちを紹介

□開催日時：5月13日(日)13:30～15:00 □会場：4階第3・4集会室 □参加費：300円 □

定員：抽選で65名 □申込：4月27日必着

[※チラシはこちらをご覧ください。](#)

■ 外国人との共生を考える講座

講師と日本在住の外国人ゲストを招き、お茶を飲みながら外国人との共生を考える

□開催日時：6月10日(日)14:00～16:00 □会場：3階第3・4集会室 □参加費：500円 □

定員：抽選で70名(中学生以上) □申込：5月21日必着

[※チラシはこちらをご覧ください。](#)

■ 大田アマチュアビデオ上映祭

区民のみなさんの作ったビデオ作品を公募し、選ばれた様々な作品を大画面で上映

□開催日時：6月24日(日)13:30～16:30 □会場：3階第3・4集会室 □入場無料 □定員：

抽選で70名 □申込：6月10日必着(参加希望者数を明記)

[※チラシはこちらをご覧ください。](#)

<ビデオ作品を募集>

上記の上映祭で上映するビデオ作品を募集します。自作映画、旅行記、学芸会などジャンルは問いません。

□テーマ：自由(但し内容によってはお断りする場合があります) □参加費：無料 □上映

時間：8分以内 □応募点数：1人1作品まで □選考基準：先着30作品を上映 □申込方法：

専用の応募要項をお取り寄せ下さい。

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770/FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

窓 心が豊かになる展示 廊下ギャラリー・展示コーナーの催し

■ 季節を彩る押し花アート展

押し花で描くアートの世界を紹介。すべて自分で押した花を使って仕上げる

□開催日時：4月4日(水)～18日(水)9:00～17:00(4日は13:00から、18日は15:00まで)

□会場：4階廊下ギャラリー(直接会場へ)

■ 南半球の島ニューカレドニアで書道を伝授

ニューカレドニアでの文化交流で実施した「書道」を通じた交流活動紹介と書道作品展

□開催日時：5月18日(金)～22日(火)9:00～17:00(18日は13:00から) □会場：1階展示コ

ーナー(直接会場へ)

[※チラシはこちらをご覧ください。](#)

おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化支援のための中心施設です。大田区政の基本方針「おおたプラン2015」には、以下のように記されています。1.文化創造の拠点、2.区民による自主運営、3.より利用しやすく親しみのもてる施設

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、1.任意登録の文化プレーヤーによって実施する「直接企画」と、2.区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募による事業」の2種類があります。

管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

- 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会またはサポートチームに参画する
- 2.s「公募による事業」に応募する

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望の活動をする



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)
東急バス大井町行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704

特集

世代をつなぐ幸せづくり
～文化の「たねまき祭」を終えて～

「運営協議会報告書」仕上がる
～次期へのバトンタッチ～

読み応えのあるコラムが自慢

元氣印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

文化プレーヤーレポート

「文化プレーヤー1年生」

様々な特技を持つ新米文化プレーヤーの声です。皆さんいろいろな思いを持って参加されています。

運営協議会委員の志

「私の文化の森」

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今月は河合良治さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今月は芸術事業プロジェクトです。

大田の顔 キラリ

今回は世界中で数々のフレスコ画を手がける大田区在住の大野彩さんをご紹介します。

文化の森育ち

文化の森でつながっていく、育っていくそんな人たちをご紹介します。今月は公募企画で行われたタイルクラフトサークルとかな書道サークルをご紹介します。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今月はNPO法人大田・花とみどりのまちづくり事務局からガーデニングのお誘いです。また以前紹介した「大倉山公園」のその後もお伝えします。

第4回 フォレストメーツ チクリ筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2006年下期

「企画実施報告書」から

2006年の下期に行われた企画写真をご紹介します。充実した活動がご覧になれると思います。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森 側でもあり

暖かくなってきたこの季節、何かを始めるにもピッタリの次期です。今月もたくさんのイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどをご紹介します。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.21Web版

2006年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります